

平成 25 年度ボランティア・市民活動コーディネーター養成講座 第4回

「ボランティアとは ～ボランティアの価値と役割～」

7月30日(火)、かがやきひろば豊野にて、多くの方がボランティアや地域活動に参加し、一人ひとりが持つ力を発揮し合っこそ実現できる、これからの「市民社会」を考えるため、「ボランティアとは ～ボランティアの価値と役割～」を学ぶ講座を開催しました。講師は、日本ボランティアコーディネーター協会 代表理事および、龍谷大学 社会学部教授の筒井のり子さん。長野市内外から、120名以上の参加がありました。

午前は講義形式で、「ボランティアとは」という根本の考え、そして震災復興支援で福島県に関わる筒井さんが感じた、災害時の対応から改めて見えてくる日常のコミュニティ、ボランティアの意味を学びました。

午後はグループに分かれてのワーク。生後6ヶ月の赤ちゃんが母親に連れられて行った施設訪問、有給のボランティア休暇を利用した活動など、10の事例について、それは「ボランティア」だと思うか思わないか、またどうしてそう思うのか、参加者それぞれの「ボランティア観」について、グループで話し合いました。さらに、実際の困りごとの相談事例を元に、住民一人ひとりが暮らしの担い手として社会参加していくことの意味、地区ボランティアセンターが果たす役割を考えました。

参加者からは、「何十年も活動してきたが、(ボランティアの) 新たな意味を知った」、「多様な考えがあることを知り、それがボランティアの可能性につながると思った」、「住みよい地域になるよう生かしたい」などの感想が聞かれ、参加者それぞれの地域活動につながっていく期待が感じられる講座となりました。



快活な筒井さんの話で、どんどん惹きこまれます。



大集会室がいっぱいになるほど多くの参加者！



様々な年齢や所属の人が交じたグループワーク。



多様な考えが飛び交う熱い議論に。笑顔もたくさん。



豊野地区の皆さんが持ち寄った手作りのお漬物がズラリ！

主催：社会福祉法人 長野市社会福祉協議会 長野市ボランティアセンター

共催：豊野地区住民自治協議会 社会福祉部会 ボランティア連絡協議会

共催：社会福祉法人 長野県社会福祉協議会